

ふるさと さいご  
故郷での最後のコンサート

---

かいき しせい しこう  
平成9年(1997)9月6日、留萌市開基百二十年・市制施行五  
十年・留萌港開港六十年記念行事として『用心棒』を留萌市  
じょうえい よくじつ きねん さとうまさる  
文化センターで上映し、翌日記念コンサート「佐藤勝とオー  
ケストラ」を勝の指揮で札幌交響楽団の演奏で開催しました。

へんきょく  
第一部はオーケストラ用に編曲した『ファンファーレ』に  
わかもの わかもの  
始まり、『ソーランラプソディー』、若者たちより『若者は  
ゆく』、『わが青春のとき』、『薄化粧』、『極道の妻たち』、  
くろさわあきら とも とくべつ ちえこ ふじん  
黒沢明との思い出話と共に『赤ひげ』、特別ゲスト千恵子夫人  
そがいしゃ きゅうせい  
の歌で『疎外者の子守歌』、『道行』、そして旧制留萌中学  
きゅうせい つづ  
校同期生との『旧制留萌中学校校歌』と続きました。



留萌市開基120年・市制施行50年・開港60年記念事業

# 佐藤 勝とオーケストラ

監修

佐藤 勝

×× 札幌交響楽団

撮影 佐藤千恵子

郷土留萌が生んだ映画音楽界の巨匠、佐藤勝。

自らのタクトに全身全霊をこめて

留萌市民の皆様にお贈りする、メイド・イン・ルモイ。

留萌で生まれた珠玉の作品の数々を今、シンフォニックに。

1997年9月7日㈯ 留萌市文化センター

主催／留萌市開基120年 市制施行50年 開港60年記念事業実行委員会

さいご  
留萌での最後のコンサートのポスター

こうてい  
第二部は『皇帝のいない八月』、『組曲 留萌の海へ』、  
せんそう  
『戦争と人間』、『乱卉』、『三たびの海峡』、千恵子夫人  
らんせ  
による『一本の鉛筆』、『荒城の月』、『札幌オリンピック』  
かいきょう  
ちえこ ふ じん  
でしめました。

す わた  
これに先立ち、青く澄み渡った空の元、黄金岬で佐藤勝  
おうごんみさき さとうまさる  
ふさい かひ  
夫妻による歌碑(※89)の除幕式が行われました。歌碑には  
じよまくしき  
わかもの がくふ  
『若者たち』の楽譜が刻まれ、メロディーが流れてきます。  
かひ  
まさる もっと よろこ  
勝にとっては最も喜びを感じられた2日間でした。

さいご  
これが留萌での最後のコンサートになりました。



かひ じよまくしき さとうふさい  
歌碑の除幕式での佐藤夫妻

※89 かひ  
歌碑  
かし ほ  
歌の歌詞を彫りつけた石。